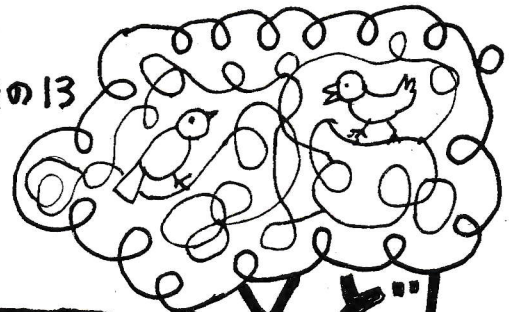


# 文庫にあるこの本いいな！ その13

文 須藤母子 (子・祐風 (シュタイナー学園6年)  
母・五月 (名倉在住))

「ズッコケ三人組の地底王国」 作・那須正幹 ポプラ社



## どんぐり文庫 ニュース

2023.9.27

連絡先

TEL(687) 2748

西村・いまき

本の貸し出し

吉野自治会館1F

どんぐり文庫

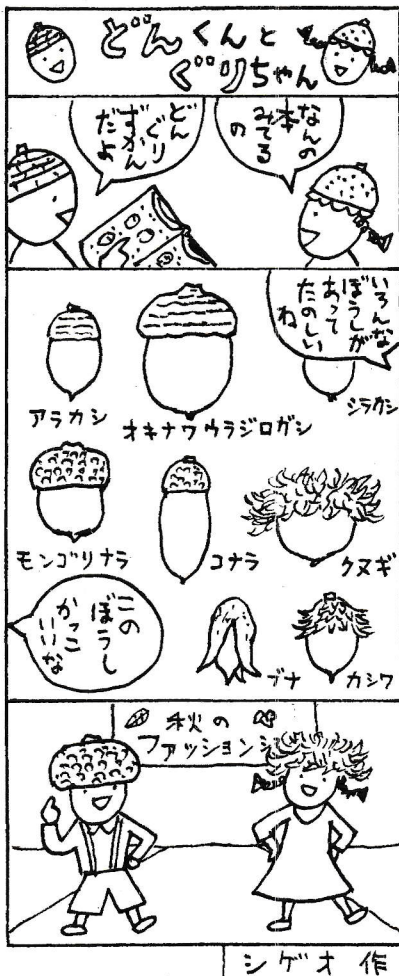
毎日曜日

1時～4時

😊 ミチナ：ぼくは「ズッコケ三人組」シリーズが面白いなと思い、このシリーズをたくさん読みました。この本の面白いところは主人公の3人組がそれぞれ違う性格体格なことです。シリーズの中では「地底王国」がいちばん面白かったです。3人が小人になって地底王国に迷い込んでしまって、勇者として怪獣退治を任せられます。結末はどうなるか、ぜひ読んでみてください。

😊 五月：こどもが借りてきた本を自分でも読むことはできますが、よく読み聞かせをします。少女時代、絵本や本が大好きだった私は、大人になりゆっくり本を読む時間がとれないので、このようにして本を読む時間を持っています。絵本や児童文学は素晴らしく、感動するものが多く、読むたびに自分の世界が広がります。例えば、「大草原の小さな家」シリーズは、大人になって初めて読みましたが、開拓時代の人間の生きる力に驚嘆し、感心しました。もしこどもの頃に読んでいたら影響を受けて違った人生を歩んだかもしれないとさえ思いました。「少年探偵」シリーズは、私も小学生時代によく読んだもので、こどもが夢中で読んでいる姿に納得しています。「ナルニア国物語」シリーズは、妖精や動物と人間の不思議な物語にこどもと一緒に熱中しました。

今回は「ズッコケ三人組」シリーズの「地底王国」が面白かったと聞き、私もこれから読んで見ようと思います。そういえば、私が小学校の5年生か6年生のお掃除の時間、床下へ出入りできる扉を見つけて、みんなで盛り上がったことがありました。地下の国への興味...!この本には、あの頃の、冒険にワクワクする気持ちの続きが書いてあるのかもしれない...!きっと、読み終わった後は、また自分の世界が広がっている筈でしょう..。



## おはなしクレヨンおはなし

絵本 「ざぼんじいさんのかきのき」「まゆとおに」  
大型絵本 「よかったねネットくん」「きよだいな きよだいな」  
紙芝居 「たべられたやまんば」 その他

10月15日(日) 吉野自治会館2F犬ホール

一部13:30~14:00 休憩15分 二部14:15~14:45



### お知らせ

藤野まるまるマルシェ 11月5日(日) 10時~

シュタイナー学園名倉 雨天決行

どんぐり文庫は子どもの本の古本屋を出店します。

### お願い

家庭で読まなくなった絵本・児童書を、古本屋出店の為にご譲ってください。活動資金として使わせてもらいます。